

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------|------------|----------|
| 事業所番号 | 1171100629 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 椿寿会 | | |
| 事業所名 | シニアレジデンスつばき | | |
| 所在地 | 埼玉県北葛飾郡杉戸町才羽2123 | | |
| 自己評価作成日 | 令和2年2月28日 | 評価結果市町村受理日 | 令和2年5月8日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.jp/11/index.php |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター | | |
| 所在地 | 埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号 | | |
| 訪問調査日 | 令和2年3月16日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

周囲が田んぼのため、ゆったり静かに過ごさせています。天気の良い日は、車通りの少ない農道を散歩し、富士山を眺めたり、田植えや稲刈りをみることができます。散歩道には、小さな花やつくし等、季節を感じることもできます。入居者様とフロアの飾りを作ったり、イベントを行う中で、四季折々の季節を感じて頂けるよう工夫しています。年に1回、杉戸町内で行われるサマーコンサートでは、入居者様の作品を出品しており、作品作りの励みにもなっています。サマーコンサートの見学時やイベントでは、ボランティアの方々との関わりも楽しんでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・夢や希望を叶えてあげようという職員の優しい思いのもと、本屋やケーキ店に出かけたい、歌舞伎を観たい、花や野菜を育てたいなど、利用者個々の思いを大切にした支援に取り組み、利用者の明るく穏やかで、満足感ある日々の暮らしに結び付けられている。
- ・運営推進会議では、事業所から利用者の暮らしぶりや活動報告のほか、事業所の取り組みについての評価や質問、外出についてや災害対策など、幅広い内容での意見交換を行うなど、有意義な会議運営をされている。
- ・目標達成計画の達成状況についても、利用者一人ひとりの「やりたいこと、行きたいところ」などの思いを聞き取り、本屋やケーキ店に出かけられたり、餃子づくりや花・野菜づくりなど、個別支援に取り組みされていることから、目標が達成されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|----|--|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが ○ 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 介護理念を職員全員で唱和している。理念を常に意識し、近づけるよう努めている。 | 「季節を感じることのできる生活作りを支援します・日常生活の中で、身体機能の維持ができるように支援します」の理念のもと、利用者の思いを大切に、健康で明るく、楽しく過ごされるよう、利用者本位のサービスが実践されている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 年1回、杉戸ぴあのサマーコンサートに作品を出品し見学をしている。散歩の際は近隣住民の方との会話を楽しまれている。また、入居者様の希望を叶えるための外出や初詣等で地域との繋がりを大切にしている。 | 外出時には地域の方と挨拶を交わされたり、季節の花を頂戴するほか、初詣や花見など地域の催事に出かけられたり、事業所イベントでもボランティアとの交流など、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう取り組まれている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の方、ご家族様にご理解いただく為、定期的に運営推進会議の場を設けている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議に取り上げられた内容について熟考し今後に生かすよう努めている。 | 運営推進会議では、事業所から利用者の暮らし振りや活動報告のほか、外出支援についてや災害対策など、幅広い内容での話し合いが行われ、事業所運営やサービスに活かされている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 連絡・相談・報告を行っていき、サービス向上を目指している。 | 行政の担当者からは運営推進会議でアドバイスを頂いたり、報告・相談・申請手続きの際にコミュニケーションを図られるほか、介護相談員の受け入れなど、良好な関係が築かれている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 玄関にセンサーを設置対応している。研修、研修後の勉強会を設け身体拘束への理解を深めている。 | 身体拘束適正化委員会が定期的に行われている。その機会に拘束に関する学びの時間をもち、身体拘束の内容とその弊害を確認、言葉での拘束を含め、行動抑制をしないケアを実践されている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | 研修等で今一度介護についての正しい知識を身に付け、職員内で注意を払っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 話し合いを持ち、利用者目線を忘れることなく接して行くことに努めている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約の際は十分に納得して頂けるよう説明し、見学の際には要点をついた説明を行い安心して頂けるよう努めている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議にて上がった要望、意見を職員同士検討し今後に生かす。 | 「本屋に行きたい」「ケーキが食べたい」など、利用者の要望に応えられている。家族については面会時や運営推進会議で意見・要望を聞き取られている。その意見や要望は職員間で話し合い、サービスや運営に反映されている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員からの改善提案についての意見は常に聞く機会を設けている。又、意見も言い易い環境に努めている。 | 定例会議に聴き取りをされるほか、発言し易い職場環境がつけられ、日常的に意見・提案が行われ、レクリエーション企画や食事づくりなど、具現化されている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | シフトを十分考慮し、職員同士の親睦を深められるような環境作りに努めている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 出来る限り外部研修に参加できるよう努めている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 町の事業者連絡会議に参加し、交流の場を設けている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人が困っている事、不安や要望等を傾聴し本人の希望を少しでも可能にすることで安心を確保し、より良い関係作りに努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 見学して頂き、困っている事・不安な事・要望等を伺い、説明を行い話し合いをする事により関係が築けるよう努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人とご家族様に今必要な支援が選択出来る様助言し、様々なサービスの利用も考えられるように努めている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 食器拭き、洗濯物干し、畳みなどの手伝いを一緒に行って共同生活が送れるようサポートしている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会や行事への参加などにより近況報告し、共に本人を支えていく関係を築けるよう努めている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 面会時には明るい挨拶を心掛け、いつでも面会に来て頂けるよう努めている。 | 限定はされるが、知人の定期的な面会を受けたり、友人との電話交換をされるほか、初詣や花見などに出かけ、馴染みの方とおしゃべりを楽しまれている。また、家族の協力を得ての法事に出かけるなど、これまで大切にしてきた関係が途切れないよう支援をされている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者同士の性格行動を読み取り、良好な関係が保てるよう食事席を配慮したり、利用者同士が関わり合い支えあえるよう支援に努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービス利用が終了してもこれまでの関係を大切にしながら相談や支援が出来る様努めている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者一人一人と関わる時間を持ち、思いや希望・意向の把握に努めている。困難な場合は言動や表情から思いを汲み取れるよう努めている。 | 利用者とのコミュニケーションと信頼関係を大切に、寄り添うことで、思いや意向を把握されている。困難な場合は、日々の関わりの中での表情や仕草などから汲み取るほか、家族からの情報提供を得て、利用者本位に検討をされている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族から生活歴や生活環境を伺ったり本人の日々の会話の中から情報を得るなどこれまでの暮らしの把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 利用者の生活リズム、心身状態、出来る事など日誌・個人記録に記録し、朝夕の申し送りにて共有し現状把握に努めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 利用者のケアのあり方や課題について、月1回のカンファレンスにて見直し、改善を行っている。 | 利用者・家族から思いや意向を聴きとり、医師・看護師からの指示を含め、職員全員で意見交換を行ない、現状に即した介護計画が作成されている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個人記録に日々の様子やケアの実践、気付きなどを記入している。また食事・排泄等の状況もチェック表で確認できるようにして職員間で情報を共有しながら実践に活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人の希望に応じ、受診や買い物など対応できるよう努め、柔軟な支援に取り組んでいる。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ボランティアで来て頂いているパドル体操や季節ごとの行事で楽しめる様、支援している。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 希望を伺いかかりつけの医院を継続し、替わる際には話し合いを行い決定している。 | 利用者や家族の希望を尊重し、医療機関の選択をしていただいている。専門医等かかりつけ医の受診は家族対応を基本とし、必要な情報提供を行ない、適切な診療が行なわれるよう支援をされている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師が不在なため、協力病院にバイタル・食事量・水分量をFAXし助言を頂き支持を仰いでいる。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には面会に行き、ご家族様や病院に情報を貰い、入居者様が安心して戻れるように配慮している。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 重度化した場合、主治医から説明や指示を頂きご家族様と相談しながら今後の方針を共有し決定するよう取り組んでいる。 | 利用者の症状に合わせ、重度化・終末期についての話し合いが持たれ、利用者・家族と意思統一を図られている。その後も意思確認を進めながら、希望に沿った最大限のケアに向けた取り組みが行われている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 緊急の際にはマニュアルに基づいて対応している。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回避難訓練を行い、日中夜間どちらでも全職員が動ける様訓練している。 | 定期訓練では水害発生を想定し、車を使用し利用者全員を指定場所までの避難誘導訓練に取り組まれている。また、その際の防寒対策や食料・携行品について検討をされるなど、体制整備に努められている。 | 災害対策には十分取り組まれています。高齢の利用者を預かる事業所として、災害時の組織対応力の維持向上に向けた継続的な取り組みに期待します。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 言葉遣いや対応に注意するよう心掛け、職員同士でも注意しあえるよう努めている。 | 定期的に行われる勉強会で、言葉遣いや行動が利用者の尊厳や誇り、プライバシーを損ねないものか、互いに振り返りを行い、適切なケアが行えるよう職員全員で取り組まれている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ご自分で決定できるように、声掛けや対応に考慮している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | それぞれの生活のペースを大切に、出来るだけ希望に沿えるよう支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 2ヶ月に一度美容師に来て頂いている。衣類は季節毎に入れ替えを行っている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食器拭き・テーブル拭き等を自ら進んで入居者様が行っている。 | 利用者個々の力に合わせ、食事の盛り付けや後片付けを職員と共に行っている。イベントでは好きな寿司やから揚げ、餃子やサンドイッチづくりを楽しまれるなど、食の楽しみを大切にした支援が行われている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 一人一人に合わせた量や刻み等をして、食事量・水分量を記録し、カロリー計算された献立と一緒に食事をし、利用者様の変化に気付ける様努めている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後声掛けし、居室にて行っている。見守りの必要な利用者様には、ホールにて行い確認している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 声掛けを行いトイレ誘導し、トイレにて排泄できるように支援している。 | トイレでの排泄を基本とし、利用者一人ひとりの力や排泄パターン・習慣を把握して、事前誘導を心掛けるなど、きめ細かなケアをされ、負担軽減と自立に向けた支援が行われている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | チェック表を作成・記入し把握している。体操や散歩、必要に応じて医師処方薬を使用している。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴日を決め、個々に沿った入浴をして頂ける様支援している。 | 利用者の体調に合わせたシャワー浴を含め、希望に沿った支援をされている。できるだけゆっくり湯船に浸かっていたくよう努め、一部シャワー浴の際には浴室内の温度を上げ、足浴を併用し温まっていたくよう取り組まれている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 季節に合わせて、寝具・衣類の交換を行っている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 毎食後、職員が手渡しして服薬を確認し、空袋を他職員が確認している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 洗濯物干し・畳み・テーブル拭き・食器拭きなどのお手伝いをお願いしている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 天気が良く暖かい日には、散歩や外気浴を心掛けている。地域のイベントや買い物など出かける機会を作るように心掛けている。 | 法人敷地内の散歩や外気浴を楽しまれるほか、庭での花の種まきや植え付け、野菜づくりを楽しまれている。また、季節毎の花見、家族の協力を得て外出など、利用者の希望を大切に支援に取り組まれている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 事務所に管理している。希望や必要な時は事務所に報告し対応している。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 希望があった時は、事務所の電話を使用し対応している。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 安全に過ごせる様、家具の配置に配慮している。季節毎に掲示物を利用者様と作り工夫している。 | 玄関ホールには、満開に花咲く桜の貼り絵、リビングには菜の花に桜の壁飾り、チューリップやガーベラの生花が飾られ、利用者が季節を感じながら、気持ち良く過ごせるよう工夫をされている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 個室になっているため一人でゆっくり過ごす事が出来る。食堂では違う席の利用者様と会話する際、主の椅子をお持ちし楽しんで頂いている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者様の希望に応じて好きなものを飾っている。安全を第一に、安心できる居室作りを心掛けている。 | 馴染みの寝具やテレビ、可愛い子猫や子犬の写真のほか、好きな歌手の写真やCDが持ち込まれ、気分良く、ゆっくり過ごされるよう工夫をされている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 利用者様に応じて大きく名前を記入したり利用者様と一緒に作ったネームプレートを掛け工夫している。 | | |

(別紙4(2))

事業所名: シニアレジデンスつばき

目標達成計画

作成日: 令和 2 年 5 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|----------------------------|------------------------------------|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 35 | 新しく入職した職員に対する災害対策の教育。 | いざという時に、マニュアルに沿った行動をとることができるようにする。 | ・入職後の災害対策についての指導。 ・早い段階で訓練に参加することができるようにする。 | 12ヶ月 |
| 2 | 35 | 利用者の入れ替わりや状態の変化に対する災害時の対応。 | 利用者の状態が違って共通認識を持ち、行動ができるようにする。 | 利用者の入れ替わりや状態の変化に合わせて、避難方法についてのマニュアルを修正する。 | 12ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。